



Crossculture
Publishing
Company Ltd.

新刊案内



Crossculture
Publishing
Company Ltd.

『危機に立つ国立大学』の続編。

コロナ危機の中、大学の在り方を問う!!

エコーする〈知〉

2020年の大学危機

—コロナ危機が問うもの—

- 著者: 光本 滋 (北海道大学准教授)
- 体裁: A5判・並製 170頁 【CPCリブレ No. 17】
- 定価(本体 2,000円+税) ISBN978-4-908823-85-5 C0037

2021年5月25日発売

大学の現状から見えて来るものは何か。
オンライン、対面授業や教育費負担の
問題に鋭く斬り込む。

はじめに

- 第1章 2020年の大学危機—COVID-19パンデミック下の大学—
- 第2章 オンライン授業の光と影
- 第3章 深刻化する教育費負担
- 第4章 コロナ危機と大学政策・大学改革
- 第5章 ポスト コロナの大学像 学習権と教育 学生の学習権 大学の目的の意義
COVID-19パンデミック収束のために

あとがき

- 【資料1】 コロナ危機に関するアンケート調査一覧
- 【資料2】 年表
- 【資料3】 文部科学省通知・事務連絡等一覧



【第2章 オンライン授業の光と影】↑

【本書あとがきからの抜粋】

本書は、『危機に立つ国立大学』の続編です。前著では、大学の組織再編が学術の展開方法を見定めた結果としてではなく、政府がときどきの政策を推進するための手段として行われていることを「国立大学の危機」としてとらえ、その状況と構造を描きました。残念ながら、このような流れは収まらず、「危機」は現在も続いております。コロナ危機の只中、政府は、総額10兆円の基金を創設し、出資した国立大学に運用益を還元しようとする「大学ファンド」や、地方創生に貢献することを条件に、一部の国立大学に定員増を認めるなどの内容を閣議決定し、それらを実施するための法律制定等を進めています。〈中略〉「大学の危機」を生み出す本質的な問題を明らかにするとともに危機打開の方向と展望を明らかにすることが続編のめざす内容です。

●好評既刊 光本 滋著『危機に立つ国立大学』(定価1,800円+税) ISBN978-4-905388-99-9 C0037

クロスカルチャー出版 〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-7-6 電話 03-5577-6707 ファクス 03-5577-6708

書店印	発行: クロスカルチャー出版	TEL: 03-5577-6707	FAX: 03-5577-6708
	2020年の大学危機—コロナ危機が問うもの— ■定価: 本体2000円+税 ISBN978-4-908823-85-5 C0037		
	冊		

はじめに

第1章 2020年の大学危機—COVID-19パンデミック下の大学—

(1) 2020年のコロナ危機

COVID-19パンデミック

緊急事態宣言

経済対策へのシフトと感染の再拡大

2年目に突入したコロナ危機

(2) COVID-19パンデミック下の大学

一変した大学の状況

2020年の北海道大学

うずまく批判

問われる大学のあり方

第2章 オンライン授業の光と影

(1) オンライン授業の一斉導入

授業の大半がオンライン化

障害の克服

(2) オンライン授業のインパクト

オンライン授業のメリット

オンライン授業の問題点

学生アンケート調査-

学生の心身、生活への影響

オンライン授業に対する評価

オンライン授業がもたらしたもの

(3) 対面授業再開をめぐる対立

文部科学省の方針転換-

対面授業再開運動

対面授業をめぐる対立が示すもの

学生の信頼を得た大学

対立を超える論理

第3章 深刻化する教育費負担

(1) 学生の困窮

学生団体の調査・緊急提言

各種調査が示す学生の困窮

(2) 学費減額要求と政府・大学の対応

政府の対応

各大学の対応

問われる「授業料」

経済支援に関する大学間格差

(3) 学費減額運動が示すもの

学費減額運動のインパクト

学費減額運動の特徴

要求運動の論理の展開

韓国における学費返還運動

学費減額運動の課題

第4章 コロナ危機と大学政策・大学改革

(1) 感染症対策の課題

入試・行事における対策

施設の改修

(2) 大学の教育方法

大学設置基準の解釈変更に関わる問題

総務省による「不当な支配」

(3) 危機便乗型「改革」

「9月入学」が招いた混乱

高校生の入試制度要求

対面授業再開の推奨

「大学ニューノーマル」

危機便乗型「改革」の問題

第5章 ポスト コロナの大学像

学習権と教育

学生の学習権

大学の目的の意義

COVID-19パンデミック収束のために

おわりに

資料1 コロナ危機に関するアンケート調査一覧

資料2 年表（2020年1月～2021年3月）

資料3 文部科学省通知・事務連絡等一覧